南高図書館だより

2025年1月号
浦和南高校図書館

図書委員のおすすめ本

NO IMAGE

『六人の嘘つきな大学生』

ビブリオバトラー推し本 1 位

浅倉秋成／著　KADOKAWA

ここにいる6人全員、とんでもないクズだった。

著しい成長を遂げるIT企業が行う新卒採用の最終選考に残った6人の就活生に与えられた課題は、1ヶ月後までにチームを作り上げ、ディスカッションをする、というものだった。全員で内定を得るため、波多野祥吾は他5人の学生と交流を深めていくが、本番直前に課題の変更の通達が。それは、6人の中から1人の内定者を決めることであった。仲間だった6人がたった1つの席をかけて、ライバルとなる。議論が進んでいく中で、6通の個人名が書かれた封筒が発見され、中に「●●は人殺し」という告発文が入っていた。6人の嘘と罪とは何か、犯人の目的とは…。

『95』

早見和真／著　KADOKAWA(角川文庫)

この小説はテレビ東京の髙橋海人主演のドラマ「95」の原作です。この小説の舞台である 1995 年に起こった地下鉄サリン事件をきっかけに普通の高校生だった主人公Ｑが戸惑いながらも「生きる」ことと向き合い、同級生の仲間たちと共に渋谷を駆け巡ります。高校生という限られた時期をどう過ごすか考えさせられる作品でした。 是非読んでみてください。

NO IMAGE

『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』

ビブリオバトラー推し本 2 位

汐見夏衛／著　スターツ出版(スターツ出版文庫)

親や学校、すべてにイライラした毎日を送る中2の百合。母親とケンカをして家を飛び出し、目をさますとそこは70年前、戦時中の日本だった。偶然通りかかった彰に助けられ、彼と過ごす日々の中、百合は彰の誠実さと優しさに惹かれていく。しかし、彼は特攻隊員で、ほどなく命を懸けて戦地に飛び立つ運命だった―。のちに百合は、期せずして彰の本当の想いを知る…。涙なくしては読めない、怒涛のラストは圧巻!

図書館からのお知らせ

◆全国の高校生が選んだ◆

ビブリオバトラー推し本を紹介！

ビブリオバトル全国大会と地方大会で 2023 年～2024 年に高校生に紹介された本の中から、“推し”が多かった、上位３作品を紹介します！

順位	紹介の回数	書名	著者	出版社
1	8	六人の嘘つきな大学生	浅倉秋成	KADOKAWA
2	5	あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。	汐見夏衛	スターツ出版
	5	方舟	夕木春央	講談社
	5	三日間の幸福	三秋縋	KADOKAWA
3	4	あの夏が飽和する。	カンザキイオリ	河出書房新社
	4	成瀬は天下を取りにいく	宮島未奈	新潮社
	4	変な絵	雨穴	双葉社

※「全国の中学生・高校生・大学生がえらんだビブリオバトラー推し本 2023～2024」
（公益財団法人 文字・活字文化推進機構 発行）より

第6弾

あなたも挑戦！「図書館たほいや」クイズ ～次のお題の正解は？～

お題【光】 出典:『日本語表現大辞典 比喩と類語三万三八〇〇』(小内一／著 講談社)

※中島敦の文章を当ててください※

1,「心の中にあたたかい光が残像みたいにそっと輝く」
2,「狼星(＝シリウス)が青白い光芒を斜めに曳いて輝く」
3,「目を閉じた闇のなかに、栗粒ほどの小さい光の粒が舞い流れる」
4,「光の束が黄金の矢のように一度に飛んでくる」

ヒント(正解以外の文章※五十音順)：川端康成、宮沢賢治、吉本ばなな

正解は一番下にあります⬇

「図書館たほいや」キットあります。やってみたい人は４人以上のメンバーを集めて、図書館へ来てください。１回遊ぶのに、２０分以上かかります。慣れていない場合は、昼休みより放課後のほうがゆっくり遊べてオススメです。

新着図書PICKUP　12月に新しく入った本

知識の本

仕事の「整理ができる人」と「できない人」の習慣
大村信夫／著　明日香出版社

ミスが多い、時間がない、ニガテな人ばかり寄ってくる…そんな毎日が驚くほど好転する！
1日3分でできて、人生がうまくいく思考や感情の整え方を、整理が「できる人」と「できない人」を対比させて紹介する。

完本東京発半日徒歩旅行　朝寝した休日でもたっぷり楽しめる東京近郊「超」小さな旅
佐藤徹也／著　山と溪谷社

地形を体感する、時代を感じる、不思議を探る、島へ渡る、乗り物も楽しむ、旧道・旧線を辿るなどなど知的好奇心を刺激する10テーマをもって、関東平野を中心に歩き倒した全100コースを収録。さいたま市の見沼通船堀沿いを歩くコースも掲載。データ：2024年8月現在。

SNS時代のメディアリテラシー　ウソとホントは見分けられる？
山脇岳志／著　筑摩書房（ちくまQブックス）

世界中に流通している情報は想像を絶する量がある。その中から自分にとって必要な情報を自分で見つけにいくのは大変なこと。この本では、元新聞記者の著者が、日々増え続ける情報におぼれてしまわないように、メディアや情報との付き合い方を伝えます。真偽が定かではない情報やウワサに触れたときの対処法や、アルゴリズムなどのデジタルメディアの特徴・人間のバイアスを理解して、自分の世界を広げるための道具として情報を使いこなせるようになりましょう。

ネット怪談の民俗学
廣田龍平／著　早川書房（ハヤカワ新書）

「きさらぎ駅」・「くねくね」・「三回みると死ぬ絵」など、「インターネット上」で生まれた「怖い話」。これらのネット怪談はどのように発生・伝播するのか。ネット民たちを震え上がらせた怪異の数々を「共同構築」「異界」「オステンション」など民俗学の概念から精緻に分析する。

日本の犬　故郷を訪ね、そのルーツや特徴、姿形、系統、保存活動から、知られざる在来犬の原点をさぐる
武井哲史／撮影　山喜多佐知子／編　誠文堂新光社

年代とともに変化していく犬たちの顔貌や佇まい。21世紀初頭の日本の在来犬の姿と歴史を記録することを使命として、各犬種の故郷を訪ねてルーツや特徴、保存活動などの撮影・取材を行い、在来犬の来歴と素顔をまとめた本。取り上げる犬種は山陰柴犬・美濃柴犬・信州柴犬・甲斐犬・四国犬・紀州犬・北海道犬・秋田犬・樺太犬・琉球犬。昭和以前の貴重な写真も交えて解説。

〈図解〉まるわかり時事用語　2025→2026年版　世界と日本の最新ニュースが一目でわかる！　絶対押えておきたい、最重要時事を完全図解！
ニュース・リテラシー研究所／編著　新星出版社

小論文コーナー

毎年出版されている、最新ニュースがひと目でわかる解説書の最新版が入りました。他にも重要時事を知りたい人へ、知っておくべき論点を1テーマごとに見開き2ページで専門家が解説する**『文藝春秋オピニオン2025年の論点100』（文藝春秋）**や、ことばの年鑑**『現代用語の基礎知識　2025』（自由国民社／編集　自由国民社）**も、新しく入ってきています。

小説・文学

恋とか愛とかやさしさなら
一穂ミチ／著　小学館

カメラマンの新夏は付き合って5年になる啓久にプロポーズされた。しかしその翌日、啓久が通勤中に女子高生を盗撮して捕まってしまう。突然のことに驚き、悩み戸惑う新夏。自分は「二度としない」という彼を信じられるのか、彼を理解したとして、その先はあるのか。正解のない問いに新夏は葛藤しつつ決断をする。新夏の視点の前編と、啓久の視点の後編で構成された物語。

富士山
平野啓一郎／著　新潮社

その日は暑かった。斎藤息吹がカキ氷屋へ行くも店は満席、仕方なく近くのマクドナルドに入ってアイスコーヒーを飲んでいると、隣の席の中年女性二人組から大腸内視鏡検査の話が聞こえてきた。なんとなく気になり、その場で大腸内視鏡検査についてスマホで検索し、予約をした息吹。検査の結果は…（「息吹」）。あり得たかもしれない人生に思いを馳せる五編から成る短編集。

両京十五日　１凶兆　・　２天明
馬伯庸／著　齊藤正高、泊功／訳　早川書房（HAYAKAWA POCKET MYSTERY BOOKS）

南京に向かった明朝の皇太子が乗った船が、何者かに爆破された。辛くも難を逃れた皇太子だったが、皇帝である父の危篤の報を受け、偶然知り合った面々と一路北京を目指す。タイムリミットは15日間。一行を次から次へとピンチが襲うが、各自の機転で切り抜ける。中国が舞台なので人名地名の見慣れない漢字に最初戸惑うが、慣れてしまえば面白くてどんどん読める大冒険譚。

返し忘れの本、ありませんか？

もうすぐ年度末です。
返却期限が過ぎたまま　返し忘れている本は
ありませんか。
心当たりのある人は　きちんと返却して
気持ちよく春休みを迎えましょう！

正解：2，中島敦『李陵』、他の選択肢は…　1，吉本ばなな『キッチン』　3，川端康成『掌の小説』　4，宮沢賢治『いちょうの実』